

平成30年5月18日

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 健太郎
 (JASDAQ・コード 2321)
 問合せ先 執行役員IR・法務担当 五十嵐 達哉
 電話 03-6550-9270

平成30年3月期通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績との間で差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期通期連結実績と前期実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前期(平成29年3月期) 実績(A)	百万円 1,737	百万円 △672	百万円 △673	百万円 △665	円 銭 △31.18
当期(平成30年3月期) 実績(B)	1,233	△851	△797	△1,740	△78.09
増減額(B-A)	△504	△178	△124	△1,074	
増減率(%)	△29.0	—	—	—	

2. 差異の理由

当社は、平成29年5月11日にソースネクスト株式会社に対して当社の保有する株式会社筆まめの株式の全てを譲渡したため、株式会社筆まめは当社の子会社でなくなっております。また、当社は、平成29年12月28日に株式会社美光に対して当社の保有する株式会社グッドスタイルカンパニーの株式の一部を譲渡し、議決権所有割合が16.66%となったことなどから株式会社グッドスタイルカンパニーは当社の子会社でなくなっております。これらに伴い、当期(平成30年3月期)において、株式会社筆まめ及び株式会社グッドスタイルカンパニーが連結の範囲から外れたことが、連結売上高、連結営業利益及び連結経常利益が減少した主な理由であります。また、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり連結当期純利益が減少した主な理由は、特別損失として、固定資産の評価による減損及び子会社ののれんの評価による減損等による減損損失309百万円、当社が保有する非上場株式の評価の見直しに伴う投資有価証券評価損382百万円並びに子会社であった株式会社グッドスタイルカンパニーの借入に対する債務保証に係る債務保証損失引当金繰入額306百万円をそれぞれ計上したことによるものであります。

なお、詳細につきましては、本日(平成30年5月18日)発表の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「前期(平成30年3月期)における特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照願います。

3. その他

平成30年4月6日に発表した「株式会社大洋システムテクノロジーとの資本業務提携、同社に対する第三者割当による新株式及び第10回新株予約権の発行、並びにマイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に対する第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第11回新株予約権の発行に関するお知らせ」のとおり、当社は株式会社大洋システムテクノロジーとの資本業務提携を中心にコミュニケーションソフトウェア事業売上の拡大を図り、ボイスコンピューティング分野の新規事業を展開することとしており、これらが当社の収益改善に向けた重要な取り組みであると考えております。

更に、当社は、業績を向上させるための新たな中期経営計画を策定し、本日（平成30年5月18日）、「中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）」として発表しております。当該中期経営計画の下、当社グループは早期に業績回復と財務状況の改善を進めてまいります。

以 上